

ご参考

トレーサビリティ分析ツール

AVASYS

Traceability Analyzer (仮称)

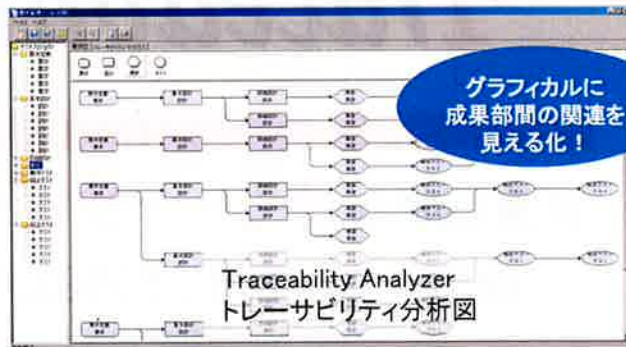
変更要求・機能間の関連をグラフィカルに見る化

「Traceability Analyzer」は、要求や機能などの成果物に書かれる情報を、グラフィカルな「トレーサビリティ分析図」により、モデルとして表現します。これにより、要求>設計>実装>テストという、ソフトウェア開発の各工程間の成果物を視覚的に連携します。

- 各成果物間のトレーサビリティを管理する事により、
- ・仕様変更の影響確認(インパクト分析)
- ・未対応要求の発見(カバレッジ分析)

が容易に確認できるようになり、レビューの効率化/成果物の品質確保に貢献します。

ひとつの成果物情報を基点に、関連する成果物の記載箇所を抽出し表示することで、前後の工程における成果物の関係を容易に確認できます。それにより、要求や機能などに変更があった場合、その変更箇所を基点に、仕様変更が発生した際の影響が一目で確認出来ます。(インパクト分析)



トレーサビリティマトリクス(TM)による、成果物のカバレッジ確認

トレーサビリティマトリクスで、漏れの無い作業推進!

Traceability Analyzer
トレーサビリティマトリクス

「Traceability Analyzer」は、要求と各機能(設計、実装、テスト)の関連を、トレーサビリティマトリクスにより一覧で確認できます。

プロジェクトメンバーは、トレーサビリティマトリクスにより、上位要求に紐づく下位要求の過不足が無いかなを確認ができ、要求カバレッジが100%になるように(プロジェクトの成果物が要求を100%満たすように)確認しながら作業を進めるようになります。(カバレッジ分析)

要求と成果物のトレーサビリティの自動生成による、レビュー効率の向上



大規模・複雑化するソフトウェア開発プロジェクトにおいて、要求を漏れなく、要求通りに実現されているか追跡する事は大変重要です。

しかし、要求がどの部分で実現されているか人手により管理するのは、管理コストの増加に繋がりが容易に実現できるものではありません。

「Traceability Analyzer」は、成果物内の内容から、関連度が高い部分を見つけ、成果物間のトレーサビリティを半自動で生成します。これにより、開発者は、より簡単に成果物間のトレーサビリティの追跡し、効率的なレビューを実現します。(レビュー支援)

USDM(Universal Specification Description Manner)表記法の要求仕様書との連携

「Traceability Analyzer」は、従来の開発で利用しているWordやExcelのドキュメントと連携を行いながらトレーサビリティの管理を行います。

標準的な要求仕様書のテンプレートとして、要求定義書をどのように書けばよいかを具体的に示した、USDM(Universal Specification Description Manner)表記法(システムクリエイツの清水吉男氏が提案)があり、USDMで記された要求仕様書(Excel)からのインポート&エクスポートが利用可能です。



既存の進め方(≒従来のドキュメント)とのシームレスな連携!

USDM表記法に準拠した
要求仕様書

▼ 詳しくはスタッフにお問い合わせください

要素開発グループ

AVASYS アヴァシス 株式会社

〒386-1211 長野県上田市下之郷浅間原813-21 上田リサーチパーク内
TEL. 0268-37-1350

ご参考

AVASYS

トレーサビリティ分析ツール

Traceability Analyzer (仮称)

成果物間の「**トレーサビリティ**」から状況を追跡し、
後工程での手戻りを減らし「**@Speed²**」開発を支援します。



大規模・複雑化するプロジェクト
成果物のトレーサビリティを自動
生成し管理工数を削減！

要求から最終成果物までの関
連をグラフィカルに整理/
見える化し、顧客のニーズに
あった開発を実現！



@Speed²は、ソフトウェア開発テクノロジーの標準プロセスの名称であり、
上流工程から、@Speed²ツールを使用することで生産性を向上させます。

Document Doctor (仮称)

■ 更なるQCDの向上の為に！！

ソフトウェア開発は、一般的に以下のフローで進められます。ソフトウェアの不具合を修正する工数は、後工程になるにつれ影響範囲が拡大し、原因究明や対策が複雑化していきます。その結果、コスト増を引き起こしてしまいます。

「Document Doctor」なら、前工程で作成した仕様書の品質向上や更なるQCD向上を図ることができます。



■ 仕様書の曖昧表現を簡単にチェック

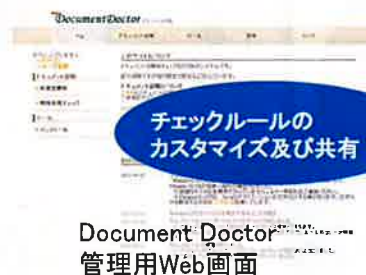
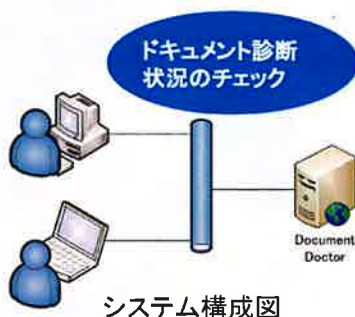
ドキュメントの診断は、診断したいドキュメントの「指定」と「実行」の2ステップで簡単に実施できます。

診断結果は「診断結果のサマリー」「チェック箇所一覧」「チェック内容一覧（ルール）」の3つの観点で、Excelに出力されます。



■ さらに進んだドキュメントチェック環境

「Document Doctor」は、サーバー/クライアント型で構築されたシステムであり、「曖昧な表現」のチェックは、サーバー内で実施します。サーバーにアクセスする事で、曖昧表現チェックルールのカスタマイズが可能であり、また、そのチェックルールの共有も簡単に出来ます。また、診断結果もサーバーで集計されるため、管理者による状況の確認がタイムリーに実施できます。クライアントに配布するドキュメント診断クライアントは、JavaWebStart(Java)/ClickOnce(.NET Framework)により、簡単に配布が可能になっています。



あいまいな用語	改善方法
受け入れ可能な、適切な	受け入れられるものは何か、そしてシステムはどうやってこれを判断できるかを定義する。
実行できる程度に	実行できるとは何を指しているのか、という決定を開発者に委ねない。TBDとし、解決期限の日付を設定する。
少なくとも、最低でも、せいぜい、上回らない	受け入れ可能値の最小値と最大値を指定する
両者の間に	両者の値が範囲に含まれるかどうかを定義する
、急速な	システムが何らかのアクションを実行する際に受け入れ可能な速度の最小値を指定する
改善された、より良い、より早い、より優れた	特定の機能分野で妥当な改善となるには、どの程度より良くなるかはより早くなければいかにを定量化する
二格（デ格）がないパターン	データの流れを表す動詞（転送する、受け取るなど）を含む文に対して、“～に”（二格）が存在しないもの
係り受けパターン	形容詞⇒名詞、副詞⇒動詞 例：適切な時点、適切な依頼 大きな値、大きな番号 十分な大きさ、十分な空き 一部ある、一部行う

ドキュメント診断ルールの一部(例)

▼ 詳しくはスタッフにお問い合わせください

AVASYS アヴァシス 株式会社

要素開発グループ

〒386-1211 長野県上田市下之郷浅間原813-21 上田リサーチパーク内
TEL. 0268-37-1350

ドキュメント診断ツール

Document Doctor (仮称)

仕様書の中の「**あいまいな表現**」を削減することで、
後工程での手戻りを減らし「**@Speed²**」開発を支援します。



@Speed²は、ソフトウェア開発テクノロジーの標準プロセスの名称であり、
上流工程から、@Speed²ツールを使用することで生産性を向上させます。

NetScanMobile for Android/iOS



Android/iOS端末からWiFi経由でセイコーエプソン株式会社製のスキャナー(※1)を制御して画像を取り込む機能を提供するソフトウェアです。

本ソフトウェアを利用することで、A4サイズの画像をスキャナーで取り込み、Android端末やiPad、iPhone上に表示・保存することができます。

※1 現在のところ、インクジェット複合機 EP-802Aに搭載されているスキャナーで動作確認を実施しております。

例えばこんな使い方ができます

ペーパーレスで楽々観光

1. 旅先の観光情報は...

駅や観光案内所などでは、たくさんの観光情報が提供されています。でも、全て持ち歩くのは大変...



2. モバイルにスキャン!!

各施設にスキャナーが設置されていたら、全部スキャンしてオリジナルの電子パンフレットが作成できます。



3. ペーパーレスで楽々観光!!

たくさんのパンフレットやガイドブックを持たなくても、手軽に楽々観光できます。



PCレスで画像送信

1. モバイルにスキャン!!

思いついた時にすぐスキャンできます。



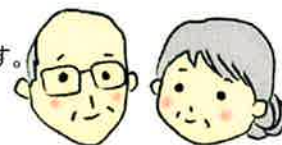
2. クラウドへUP!!

Android/iOSならクラウドとの連携も簡単です。



3. 対応デバイスで簡単閲覧!!

クラウド対応のデバイスがあれば、スキャンした画像がすぐに見られます。



※記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

※仕様などは予告なく変更させていただくことがあります。



アヴァシス株式会社
TEL: 0268-37-1211(代)

長野県上田市下之郷乙1077-5 上田リサーチパーク内
URL: <http://avasys.jp/> e-mail: ava-bz@avasys.jp (担当: 竹内)

